

イエスは 主なり

日本クリスチャン・アシュラム連盟



# 日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創設されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 165号

## 『聖霊の宮として』

第Iコリント書6章19～20節

鮫島 則雄



このアシュラム誌が皆さんのお手許に届く頃、『第46回九州アシュラム』が感謝と喜びの内に終え、主からまた普段の生活の場へと派遣されていることでしょう。

今回の九州アシュラムは『聖霊に満たされて』という総主題で、昨年に引き続き今村幸文師を助言者にお迎えして開催されます。今回の打ち合わせの段階で、今村師からこの総主題を聞いた瞬間、使徒パウロがコリントの教会に宛てた第一書簡の上記のお奨めのことが心に浮かんできました。「現代のキリスト教会は程度や角度の違いこそあれ、いずこもコリントの教会だ」という声を神学生時代から耳にしています。神学生時代は聖書を無批判にではなく批判的に学べと指導されましたから、無意識の内に現実の教会まで批判的に見ていたようです。しかし今こうして牧会の第一線に押し出され、20年近い奉仕の中で体験したことは「やはり程度の差こそあれ、コリントの教会かな…」と思われています。主イエスさまの尊い血潮によって罪が贖われ、神さまとの和解の道に入れられるという素晴らしい恵みの立場に置かれたにも関わらず、いつしか救われて当然という雰囲気の中で生きている気がするのです。本当は主の恵みによって生かされているにも関わらず…。

私たちは、永年それなりに信仰生活を守れてきていることで現状に満足しているのです。しかし神さまは今の私たちに満足していらっしゃるのでしょうか…そこまで思ったとき、使徒パウロが語った勧めの言葉が浮かんできたのです。

・あなたがたは知らないのか。自分のからだは、神から受けて自分の内に宿っている聖霊の宮であって、あなたがたは、もはや自分自身のものではないのである。あなたがたは、代価を払って買いとられたのだ。それだから、自分のからだをもって、神の栄光をあらわしなさい。

私たちは「聖霊の宮」であり、自分のものではない。その自分のからだをもって、神の栄光をあらわすことが主の御心である…。改めて自分の生温さを示されています。

主のご再臨が近いのでは、と巷で囁かれ始めています。マタイ24章に目をやると、確かに終末の徴らしきものを世界中に見る思いがします。だからこそ私たちは、今一度自分自身の信仰を見つめ直す時を、アシュラム（仕事を離れて）して、節目ごとに大切にしていきたいものです。

(門司港キリスト教会 牧師)

## 則 霊



## 日本アシラムの

## 五大原則

イエスは主である

(Iコリント12の3)

東京新生教会協力牧師

横山 義孝

去る6月16(木)〜17(金)の第19回定期理事会では13名の理事が全国から集まり意義深い、祈りと協義の時を持つことが出来ました(別項理事会報告参照)。第一日の冒頭で理事会はアシラムセミナーの時を持ち、小生が「日本アシラムの五大原則」を発題的に、その意味する主要ポイントを指摘し一同は協議の内にこれを再確認した次第です。ここにその重要な点を皆さんと共に学び、今後のお互いのアシラムの歩みに新たな信仰と祈りをもって資するものでありたく存じます。五大原則の(A)第一は「キリストへの明渡しと服従」です。クリスチャンの信仰生活はこの明渡しと服従にその原点

があります。祈りにはいろいろな内容がありますが、アシラムの祈りのキーポイントは、私にとってお従いすべき神様のみ旨は何であろうかと、お伺いすることにあります。多くの場合私たちは、自分好みのお願いを並べ立て、一方的に神様に祈り求めます。しかし実際はその前に大切なことがあります。「何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる」

(Iヨハネ5の14)とあります。罪ある私たちは、悔い改めるべき事私が開き従うべき主のみ旨をまず伺って後に、そのみ心に適うことを祈り求めることが重要なのです。悪意、殺意、姦淫、みだらな行い、盗み、偽証、悪口等が心から出て来る(マタイ15の19)と主は仰せられました。悔い改めて捨て去るべき罪を温存させたままでは、神さまはお聞きになりません。そこでアシラムの祈りは、私に対して指摘して下さる隠れた罪、不従順、頑固な思いを神が悟らせて下さるから、直ちにこれにお従いし、心を明け渡して、主よあなたのみ心のままにさせて頂きますと申しあげるのであります。

(B)第二は「御言への静聴と立証」です。私達に対する主のみ旨を知らせて頂く最良の方法は御言葉としての「聖書」です。アシラムの祈りは、まず御言葉「聖書」を読み、そ

こから神のみ旨を聞き、受けとめるのです。聖書から離れた黙想は、いつのまにか自分好みの考えへと墮して行きます。「というのは、神の言葉は生きており力を發揮し、どんな諸刃の劔よりも鋭く、精神と霊を刺し通して心の思いや考えを見分ける」(ヘブライ4の12)とあり、「今日あなたたちが神の声を聞くなら：心をかたくなにしてはならない」(ヘブライ3の7〜8)とあります。み声を聞いて、お従いします、と決断

しますと、聖霊の恵みが直ちに与えられ、喜びと希望がわいて来ます。そうしたら、そのありのままの信仰の思いを証しするように導かれます。与えられた恵みは、自分だけで隠しておかず、皆の前で大胆に証しすることによって、大きな確信と喜びへと拡充されていくのです。

(C)第三は「聖霊の導きと充満」です。聖霊の働きは千差万別です。迫害者サウロから、伝道者パウロに劇的に回心させた神さまのお働きがあり、イエスさまがバプテスマのヨハネから洗礼をお受けになった時は、聖霊が鳩のように静かに臨んだ(ヨハネ1の32)とあります。しかし凡ての人に等しく与えられている恵みの賜物があります。それは、聖霊が「信じる者」に与えられ(ガラテヤ3の14)、「求める者」に与えられ(ルカ11の13)、「従う者」に与え

られる(使徒5の32)のです。ですから聖霊の恵みは凡ての人に与えられている(使徒2の38)のです。大切なことは、この聖霊の充満を経験することです。これがアシラムの祈りの重要な点なのです。まず聖霊の細きみ声だと悟ったならば、まずその導きに従うことです。服従と導きを求め続ける内に、水がブドー酒に変わった様に、聖霊の充満の恵みに与ることが出来るのです。

(D)「教会への奉仕と伝道」第四は伝道の実践です。恵みを頂いたならば、それを私したままにしないで、隣人に証し、未信者への伝道へと遣わされて行くことです。教会はペンテコステの聖霊の降臨によって神ご自身が産み出して下さったキリスト者の群です。迫害の中を弟子達は散らされて伝道の使命を果たしたのです。ですから聖霊の導きを受け、その導きに従う者こそ、教会の枝々に相応しい者です。母なる教会とも云われます。教会への奉仕の中で魂は養われ慰めを受け、癒しと励ましを頂くのです。

(E)第五は「神の国の体験と献身」です。教会は神の国の雛型です。教会は神の国そのものではありませんが、再臨し給うイエスキリストによって、最後の審判が世に下された後信じる凡てのキリスト者は、永遠の御国へと携え上げられ、永遠に神と

共に生きることが許されるのです。そこで味わうであろう至上の恩恵の事実は全く知り尽くすことは出来ませんが、その前味としての片鱗を私たちは教会の交わり中で経験し体験出来るのです。そのため私たちはいよいよ献身の真実を尽くしたく存じます。

### 第30回横浜岡村 教会アシシラム報告

安藤 脩

岡村アシシラムは30回という大きな節目を迎える事ができた。それで、岡村アシシラムのスタート時より関わりを持ってくださった横山義孝師を助言者として迎えました。

開催日時・7月9日(土)午後3時~10日(日)午後3時30分

テーマは「内におられるキリスト 栄光の希望」と題して、コロサイ人への手紙1章24~29節から恵みが説かれました。

今年のアシシラムは30回というだけでなく、嬉しいことには、初参加の人が多くいました。といいますが、ちょうどこの開催日の9日より10日間、東京基督教大学の神学生5名が、夏期伝道派遣で奉仕に来て下さいました。この若い神学生たちは、アシシラムなるものの名前さえ



知らず、全くの初体験ということでした。それと、姉妹教会の清水ヶ丘教会より2名の方が、土曜日のみでしたが参加くださったことも感謝でした。

開心の時、祈りの細胞を通して皆がニードを出し合いましたが、神学生等新しい人がいて、新鮮な思いで自分のニードを見つめ、祈り会えようように思います。

ファミリアアワーでは、「私が始めて主に出会った時」と題して、救いと、心に光を放った御言葉とを証し、恵を分かち合いました。私どもの教会では毎年、信徒講座を6、7月に行っておりま。例年、総動員

伝道で出している「大いなる救い」を用いて、神、罪、救い、信仰等、基本の学びと、それを分かり易く、どのようにして求道者に語るかという事を中心の学びです。しかし今年、自分が始めて御言葉に接した時、はじめて教会に行った時の思いを証し合う事によって、求道者への対応の仕方を学ぶというものでした。これが好評だった事と、神学生の体験も聞きたいということで、このようなプログラムとなりました。

後日、神学生たちに横浜岡村教会での夏期伝道派遣について書いてもらったところ「初日のアシシラムでの祈りの細胞から、切なる願いをされる皆さんの姿を目の当たりにして、この夏期伝道の期間、目一杯この教会を愛したいと思いました。」

「...中でも初日からアシシラムに参加できたことは恵でした。互いの祈祷課題を出し合い、祈ることで、皆さんとの距離がぐっと近づいた気がします。」アシシラムという初めての体験でしたが、証や、互いの祈り課題を分かち合い、共に祈りあう、このようなときが与えられました。

私たちは皆違うけれど、主にある家族となり、集められ、共に祈り、支えあってゆける喜びを知ることが出来ました。」等、アシシラムに関する感想が印象深く書かれていました。

今年の参加者は初日25名。福音の時47名、最後の充満の時30名でした。

### 各地区アシシラム等予告

● 函館栄光キリスト教会アシシラム  
とき 11年10月9日(日)~10日(月)

助言者 横浜岡村教会牧師

安藤 脩師

● 第45回関西アシシラム  
とき 11年10月9日(日)~10日(月)

ところ 御影「母の家ベテル」

助言者 日本長老教会牧師

村瀬 俊夫師

● 第2回仙台アシシラム  
とき 11年10月15日(土)~16日(日)

ところ 日本キリスト教団仙台青

葉荘教会

助言者 日本長老教会牧師

村瀬 俊夫師

● 第19回東京新生教会アシシラム  
とき 12年2月25日(土)~26日(日)

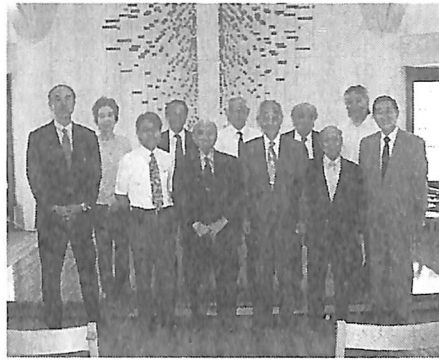


日本クリスチャン

アシラム連盟

第19回全国理事会報告

書記 木部 安来



2011年6月16(木)～17(金)

全国理事会が日本ホーリネス教団池の上教会において開催されました。出席者は関東・横山義孝、木部安来、有馬歳弘、安藤脩、関西・小島十二、辻中昭一、九州・岡山敦彦、鮫島則雄、事務局・飯島庸江、石井寛。(以上敬称略) 来訪者として池の上教会牧師千代崎備道師、飯島延浩兄からご挨拶を頂きました。プログラムはA6/16(木)夕6時より歓迎夕食のあと7・30より9・30

までアシラムセミナーがもたれました。司会・有馬歳弘師、聖書IIコリント1・20で祈禱のあと横山義孝師が発題者として日本アシラムの五大原則に沿ってEスタンレージョーンズ師が強調し遺されたアシラムの基本と、強調点について語り、特に主権者なる主への明け渡しと絶対服従がその中心であることが確認されました。

B第2日(6・17(金))は9・00より30amまでデイポーション司会・安藤脩師。池の上教会大会堂において静間と分ちあいの時を持ちました。続いて会議室に移り9・30am～3・30pmまで昼食を缺んで規約による議事が開かれました。議事I(1)前回記録事項の確認。第18回臨時拡大理事会の記録が確認されました。(2)

各地区報告事項確認。函館栄光キリスト教会の佐々木雄次師より道南地区のアシラム報告、関東地区を安藤脩師、関西地区を小島十二師、九州地区を岡山敦彦師よりそれぞれ別紙文書により、(四国地区唐渡弘師、東北地区島隆三師より親書で)報告され感謝をもって了承されました。(3)事務局報告を主事の石井寛兄が日本アシラム誌の年4回発行(編集・横山義孝)と各地区との連絡、販売図書管理、会計等煩瑣な事務を同教会独自の事務のほかに一手に引き受けて処理していることが報告

された。昼食後午後から議事IIにはいり現行規約を逐一検討確認する作業に入り主として下記が確認されました。①第2条(事務所)に関しては「合意により池の上キリスト教会を(事務所として)さだめた」と付記する。②第5条(構成)では「本連盟の必要に応じ他に若干名の理事を推薦することが出来る」の「若干名」について、「地区推薦理事と連盟推薦理事の双方を可とする」ということが確認されました。③第7条(会期)では「(定期理事会を)「毎年一回開く」とあるのを「隔年ごと

な恵みを受け祈り深く生きることに中でのみ教会の宣教の使命を果たすことが可能となることを知り、今後のこの働きの積極的な前進の必要を確認しました。同時に経費の面の必要を満たすことを願う理事は1年に1万円の特別献金をもってこの祈りの一つの実践としてとの申し合わせました。尚今回の理事会開催にあたり文書をもって建設的なご意見を寄せてくださった方など、多くの方のご加添を頂きました事を感謝申し上げます。

議事III・(1)新理事は種々協議の結果以下のように選任されました。理事長・横山義孝、副理事長・清水潔(関西)書記・木部安来、理事・有馬歳弘、安藤脩(以上常任理事)地区代表理事・鍋倉勲(九州)小島十二(関西)、横山義孝(関東兼務)推薦理事・岡山敦彦、鮫島則雄(以上九州)辻中昭一(関西)佐々木雄次(函館)唐渡弘(四国)島隆三(東北)任期は本年より2年とする。(2)最後に今後の日本アシラム運動の推進と方向性について協議しました。今日の不安定な混迷した時代にあってキリスト者が先ず聖霊の豊か



〒181-0011 三鷹市井口3-15-6  
池の上キリスト教会内

日本クリスチャン・アシラム連盟  
振替口座 東京0100114558